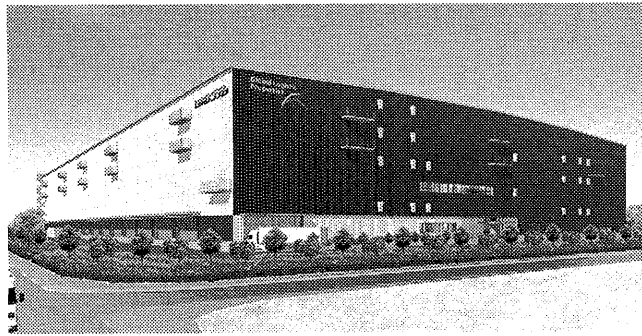


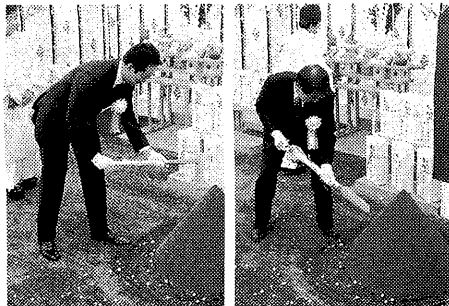
「GLP吉見」が起工式

設計施工 JFEシビル
・福田組JV



グローバル・ロジスティック
・プロパティーズ(GLP)は
8日、埼玉県吉見町で計画して
いるBTS(ビルド・トゥ・ス

BTS型物流施設 来年9月の完成目指す



鍬入れの帖佐社長

鍬入れの藤井社長

ーツ)型の大型物流施設「GLP吉見」の起工式を現地で開催した。規模は、S造4階建て延べ約6万2000平方メートル。設計施工をJFEシビル・福田組JVが担当し、2015年9月の完成を目指す。

同施設は日本ロジテムの専用施設として建設する。帖佐社長は、「『GLP吉見』は当社にとって埼玉県内で開発する4件目の物流施設。日本ロジテムの事業ニーズに合致したオーダーメイドとし、当社が蓄積してきた経験と実績を生かして質の高い物流施設を提供したい」とあいさつした。

建設地は、東松山市計画事業西吉見南土地区画整理事業3街区の敷地約3万4000平方メートル。首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジ(IC)、関越自動車道東松山ICに近く、交通利便性が高い立地となる。



内田栄次JFEシビル・福田組JVGLP吉見プロジェクト作業所長(JFEシビル)の話「広い敷地で作業を進めるため、隣同士で互いの行動を確認し合うことで安全を「見える化」することで事故を未然に防ぎたい」